

札幌医科大学医学部長 高校訪問を実施いたしました

進路指導部

実施日 2013/05/24（金）

講師 札幌医科大学医学部長 黒木由夫先生

参加生徒 医学部進学類型 3年生 7名、2年生 11名

札幌医科大学における北海道の医療を担う医師を育成するためのプログラムについて、説明していただきました。医師に必要な資質や心構え、大学入試制度、高校生活を送る上での心構え、大学入学後の学習、施設設備、大学卒業後の研修、最先端医療、事前にお伝えした生徒からの質問も踏まえた大変興味深いお話をいただき、生徒は約90分間、食い入るように聞き入っていました。以下に生徒の感想を記します。

「医者はチームワークが必要なこと、様々な学問を修めないといけないことを聞いて、やはり医者になるには覚悟がいることを改めて感じた。医療の進歩に合わせた生涯学習は、人の命を預かる医者になるためには当然だと思った。」

「医師になるための課程や、求められている人間性などがわかりました。大学に入った後の教育の流れが詳しくわかり、いろいろな分野に興味を持つことができました。大学に入ってから一人前の医師になるまでの情報をあまり聞いたことがなかったので、今回とても勉強になりました。高校生のうちから世界などにも視野を広げ、いろいろなことに興味を持っていきたいと思います。」

「今、医者の役割は患者の手助けをすることだという話を聞いて、治療は直すことだけでなく心などを癒すことも必要だという話を思い出した。そのためにも、知識や技術だけでなく、人間性や協調性、優しさが必要だとわかり、その力をつけたいと思った。医者になるためには大学を卒業し、研修を終えた後も勉強し続けることが必要な、やりがいのある仕事だと改めて感じた。」

「最新の手術室や手術ロボットの説明を受けて、札幌医科大学に入学したいという気持ちが強くなりました。」

「ハイブリット手術室はとても便利そうでわくわくした。」

「高校生のうちにたくさん勉強し、夢を実現するためにも日々の学校生活を毎日、毎日を大切にしていきたいです。今日の話はとても参考になり、とてもすばらしい時間を過ごせました。ありがとうございます。」

どの生徒も、一人前の医師になるまでの道筋をイメージでき、より具体的な努力目標ができたようです。ご多忙の中、来校していただいた黒木先生にはたくさんの感謝の言葉が綴られていました。生徒たちが将来、医療の分野でも活躍してくれることを願います。

（文責 盛）

